

# 学力向上に係る効果的事例

## 基礎・基本を徹底し、それを活用する力を育てる少人数指導の工夫

【三郷市教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、各学年、数学

2 ねらい

生徒一人一人の実態をより細かく把握し、個に応じた指導を工夫することを通して数学を学ぶ意欲を育てていくためには、基礎学力が基盤となる。さらに、基礎・基本の定着が学ぶ意欲を高めていくのである。基礎・基本を定着させ、それを活用する力を育てる機会を増やしていく。

3 取組内容

(1) 少人数指導やT・Tによる指導を工夫し、基礎学力と学習意欲を高める。

少人数指導では「普通コース」と「基礎コース」の人数を2：1に分け、「基礎コース」は反復（スパイラル）を中心とした基礎・基本の徹底、「普通コース」では、既習事項を活用する問題を多く取り扱い、「考え方」や「方法」を分かりやすく説明することを意識させている。

(2) 自己評価カードを活用し、学習意欲を高める。

毎時間の記録として、自己評価を記入することで、その日の学習内容や姿勢・態度を振り返り、家庭学習や次時の授業への意欲につなげている。また、生徒の書いた自己評価カードを毎回点検し、コメントを入れながら、教師自身も次の授業内容の修正等に生かしている。

**数学自己評価カード**  
3年 1組 番 氏名 \_\_\_\_\_

【意欲】 関心をもち、自分で取り組む  
【考え】 自分なりの考え方をもつ  
【計算】 計算できたり、答えが求められる  
【知識】 法則や問題を解く方法が理解できる

よくできた=A      まあまあできた=B      できなかった=C

日付	授業内容	疑問・分かったこと・気になった意見など	意欲	考え	計算	知識	検印	挙手
1/14	相似の利用	証明のやり方を復習したのか、自分なりにまだしつかり書き方が身に付いてないの？教科書の証明の問題をくじし家庭学習をやりたいです。	B	B	A	A	検	
1/15	三角形の比	写真の問題は見た目難しい思はしたが、先生のやり方にたかったら、1が11復習できたのでよかったです。そんな問題でも解けるよってわかてかたと思ました。三角形の比をしつかり理解することが大切なのかもしれないから復習したいです。	B	B	A	A	検	
1/18	〃	証明の問題は自分なりに書けました。公式はもっとおもしろい問題が出たと思うので、そのときはかきまよって家庭学習を導のしする。三角形の比の定理をしつかりおぼえらるおにがんばります。	A	A	B	B	検	
1/19	〃	三角形の比(2)の定理を自分でしつかり覚えた。Xの比の出方がいまいち家で家庭学習をし、問題がいなくてかきまよってかきまよります。証明は自分で書けるように努力しよう。図の形が	A	A	A	A	検	2

(3) 5分間学習を軸とした取組を通して、基礎学力を高める。

毎日の日課の清掃と帰りの会の間に5分間学習の時間を位置付け、国・数・英を中心とした基礎学力の徹底をねらいとして行っている。特に数学では、自己評価カードを基に、苦手な単元の復習や、図形の単元のときの計算練習として、反復練習を意識して行っている。また、早く終わってしまう生徒のために難易度の高い問題を裏に印刷しておくなど、その5分間は全生徒が全力で取り組める時間となるようにしている。

